

# 茨木市のまちづくりに関するアンケート(事業所)

## 報告書

平成 25 年（2013 年） 3 月

茨木市



# 《 目 次 》

## I. はじめに

|                |   |
|----------------|---|
| 1. 調査の目的 ..... | 1 |
| 2. 調査の概要 ..... | 1 |

## II. 集計結果の概要

|                                 |    |
|---------------------------------|----|
| 1. 回答事業所の属性 .....               | 2  |
| 2. 今後の事業意向について.....             | 5  |
| 3. 行政と事業所との連携について.....          | 8  |
| 4. 行政に関する情報の入手方法について.....       | 9  |
| 5. 大学連携に関する取り組みについて.....        | 10 |
| 6. 産業振興に関する取り組みについて.....        | 11 |
| 7. 防災に関する取り組みについて.....          | 12 |
| 8. 茨木市のプロジェクトについて.....          | 15 |
| 9. C S R（企業の社会的責任）について.....     | 18 |
| 10. 環境（エネルギー）に関する取り組みについて ..... | 21 |

## 【参考資料】 アンケート調査票



# I. はじめに

## 1. 調査の目的

「第4次茨木市総合計画」が平成27年度に目標年次を迎えるにあたり、これに続く「(仮称)第5次茨木市総合計画」の策定に向け、事業者が日頃まちづくりについて考えていることや、まちづくりに対する率直な意見を把握し、計画策定の基礎資料とすることを目的とする。

## 2. 調査の概要

### (1) 調査対象

茨木商工会議所の会員 1,727 事業所。

### (2) 調査時期

平成25年3月1日(金)～3月11日(月)

### (3) 調査方法

茨木商工会議所が会員企業に毎月送付する会報に、調査票と返信用封筒を同封し、郵送により回収。

### (4) 回収率

|       |         |
|-------|---------|
| 配布数   | 1,727 票 |
| 有効回収数 | 91 票    |
| 有効回収率 | 5.3%    |

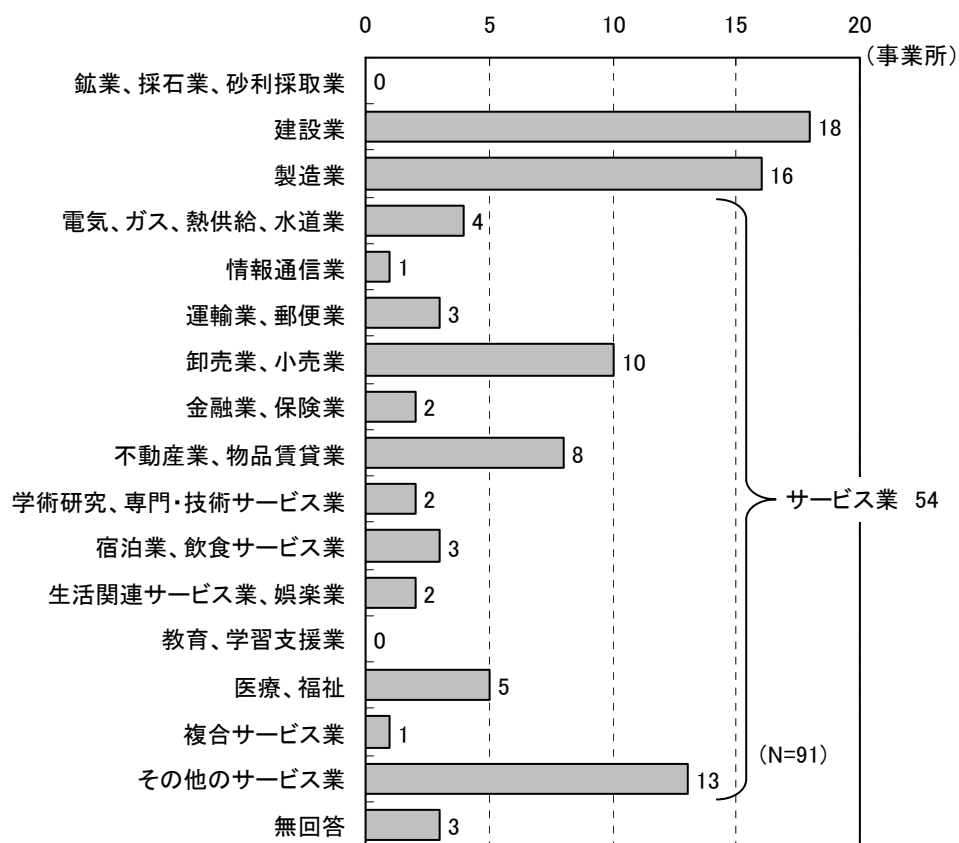
## II. 集計結果の概要

### 1. 回答事業所の属性

#### (1) 業種〔問1〕

業種は「建設業」が18事業所で最も多く、ついで「製造業」が16事業所、「その他のサービス業」が13事業所となっている。

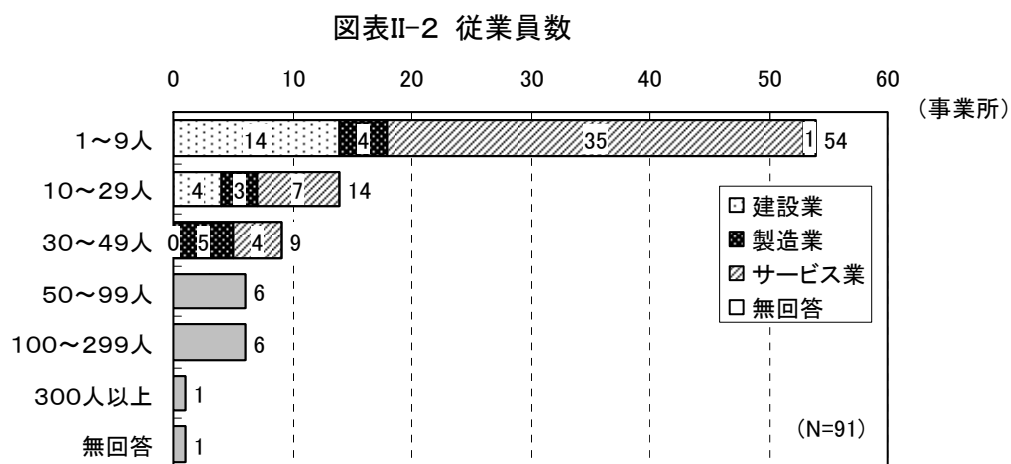
図表II-1 業種



(注)ここでは、「電気、ガス、熱供給、水道業」「情報通信業」「運輸業、郵便業」「卸売業、小売業」「金融業、保険業」「不動産業、物品賃貸業」「学術研究、専門・技術サービス業」「宿泊業、飲食サービス業」「生活関連サービス業、娯楽業」「教育、学習支援業」「医療、福祉」「複合サービス業」「その他のサービス業」の合計を「サービス業」とした。(以下同様)

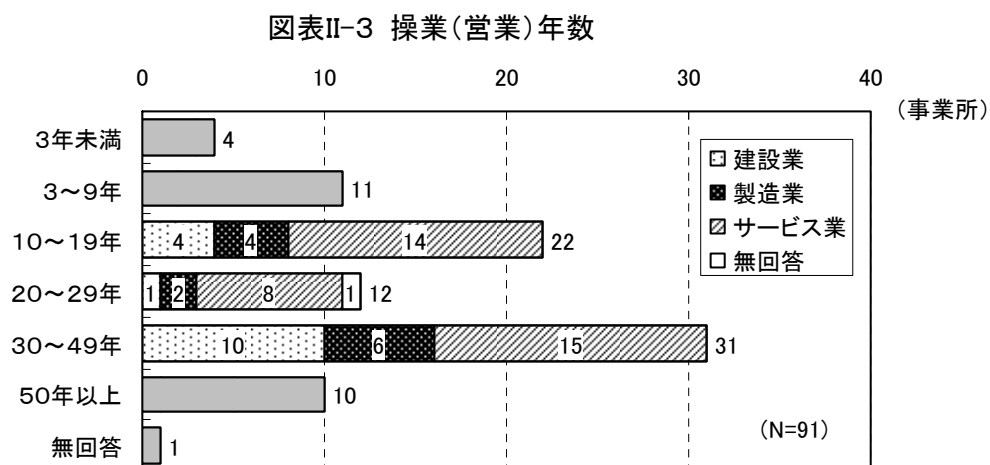
## (2) 従業員数 [問 2]

従業員数（パート・アルバイトを含む）は「1～9 人」が 54 事業所で最も多く、ついで「10～29 人」が 14 事業所、「30～49 人」が 9 事業所となっており、小規模の事業所が半数以上を占めている。



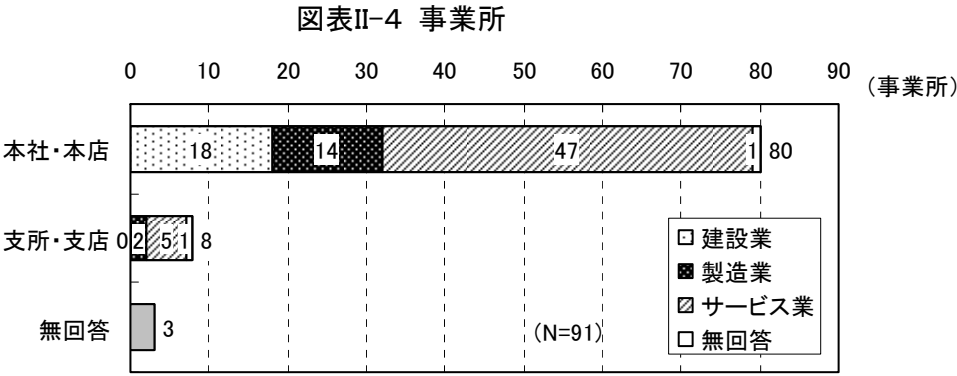
## (3) 操業（営業）年数 [問 3]

現在の場所での操業（営業）年数は「30～49 年」が 31 事業所で最も多く、ついで「10～19 年」が 22 事業所、「20～29 年」が 12 事業所となっている。また、「50 年以上」も 10 事業所あり、回答事業所の約半数が、30 年以上の長期にわたって本市で操業（営業）している。



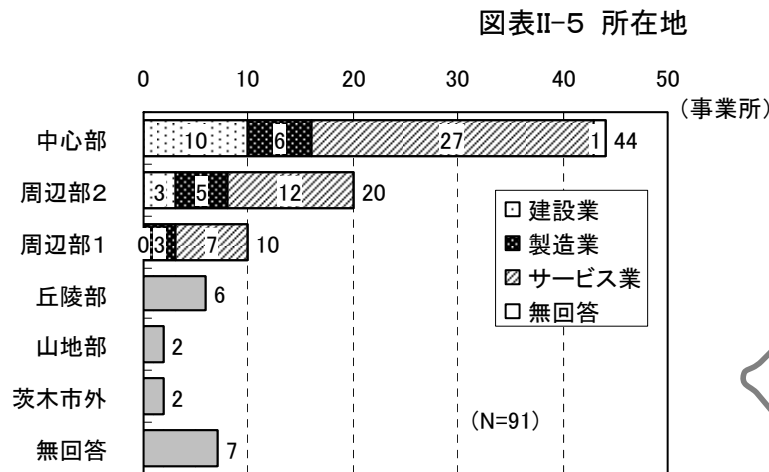
(4) 事業所について [問 4]

事業所は「本社・本店」が 80 事業所で、「支社・支店」が 8 事業所となっており、大部分が本市に本拠を置く企業である。

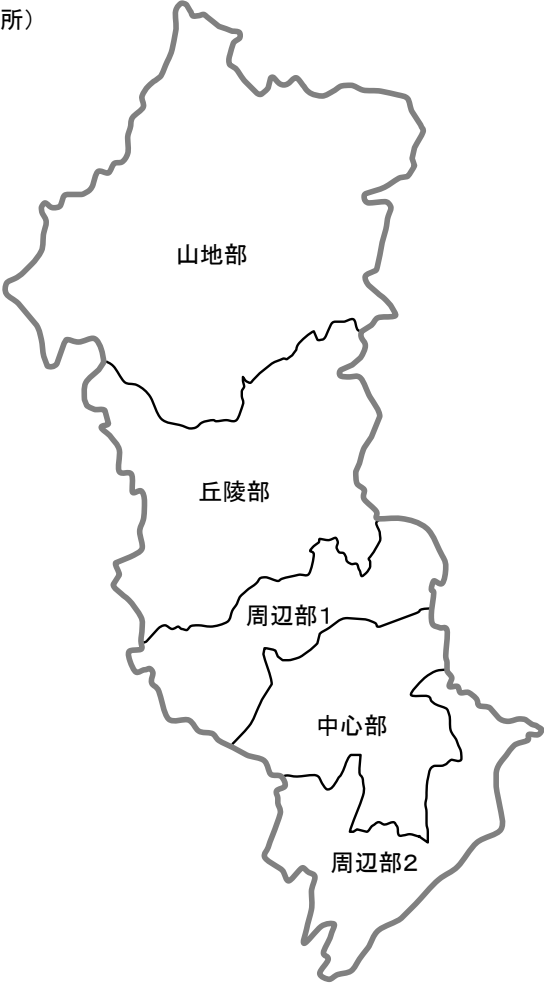


(5) 所在地 [問 5]

所在地は「中心部」が 44 事業所で最も多く、ついで「周辺部 2」が 20 事業所、「周辺部 1」が 10 事業所となっている。



| 地区   | 小学校区   | 地区   | 小学校区   |
|------|--------|------|--------|
| 山地部  | 清溪小学校  | 中心部  | 茨木小学校  |
|      | 忍頂寺小学校 |      | 春日小学校  |
| 丘陵部  | 安威小学校  |      | 春日丘小学校 |
|      | 福井小学校  |      | 三島小学校  |
|      | 豊川小学校  |      | 中条小学校  |
|      | 山手台小学校 |      | 玉櫛小学校  |
|      | 彩都西小学校 |      | 大池小学校  |
| 周辺部1 | 郡山小学校  |      | 中津小学校  |
|      | 太田小学校  |      | 水尾小学校  |
|      | 郡小学校   |      | 庄栄小学校  |
|      | 沢池小学校  |      | 畑田小学校  |
|      | 西小学校   |      | 穂積小学校  |
|      | 西河原小学校 | 周辺部2 | 玉島小学校  |
|      | 耳原小学校  |      | 東小学校   |
|      |        |      | 天王小学校  |
|      |        |      | 葦原小学校  |
|      |        |      | 白川小学校  |
|      |        |      | 東奈良小学校 |



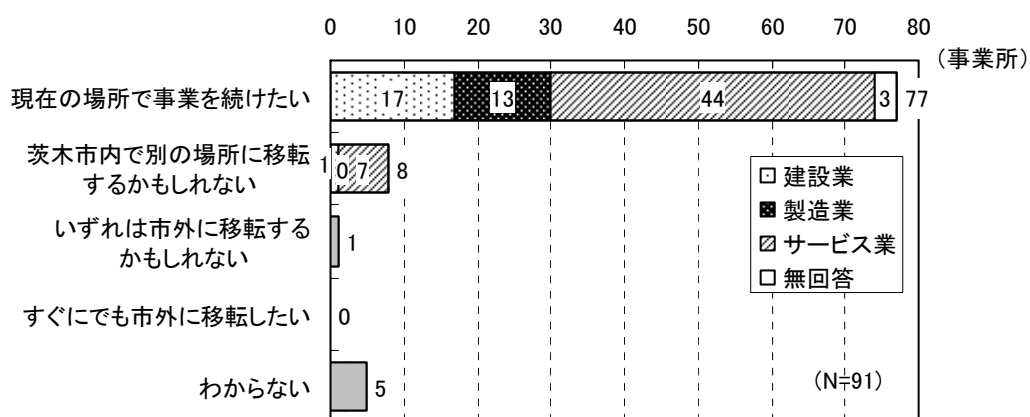


## 2. 今後の事業意向について

### (1) 今後の事業継続意向 [問 6]

今後の事業継続意向としては、「現在の場所で事業を続けたい」が 77 事業所で最も多く、ついで「茨木市内で別の場所に移転するかもしれない」が 8 事業所となっており、ほとんどの事業所が今後も本市内で事業を継続する意向をもっている。

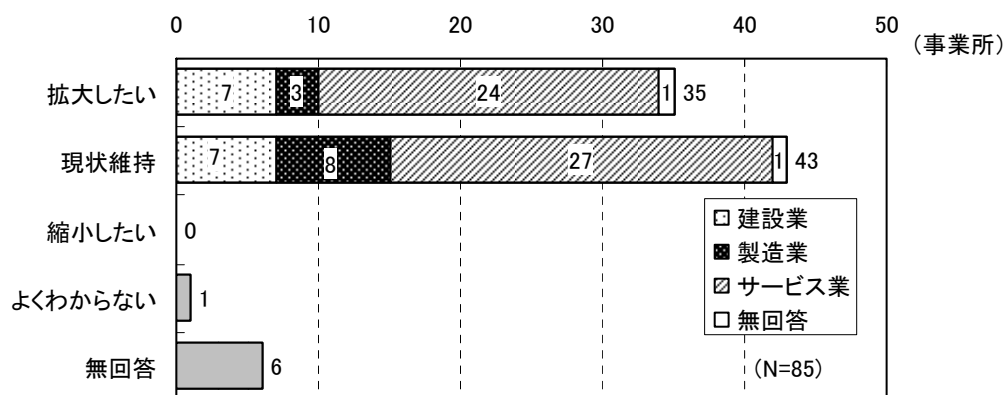
図表II-6 今後の事業継続意向



### (2) 今後の事業規模 [問 7]

問 6 で「現在の場所で事業を続けたい」「茨木市内で別の場所に移転するかもしれない」と回答した 85 事業所の今後の事業規模は、「現状維持」が 43 事業所で最も多いが、35 事業所は「拡大したい」としている。

図表II-7 今後の事業規模

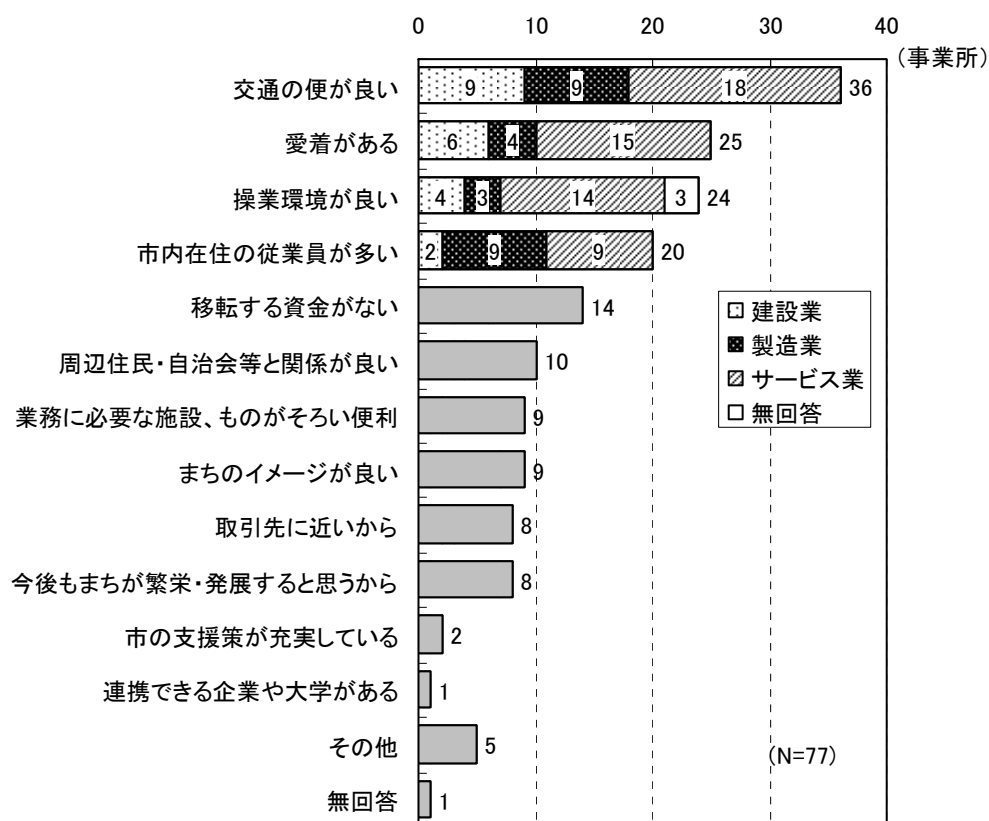


### (3) 現在の場所で事業を続けたい理由 [問 8]

問 6 で「現在の場所で事業を続けたい」と回答した 77 事業所が、現在の場所で事業を続けたい理由は「交通の便がよい」が 36 事業所で最も多く、名神高速道路や大阪中央環状線などの幹線が集中する立地が評価されていると考えられる。

一方、「市の支援策が充実している」や「連携できる企業や大学がある」など、ソフト面での理由を挙げた事業所は少ない。

図表Ⅱ-8 現在の場所で事業を続けたい理由(複数回答)

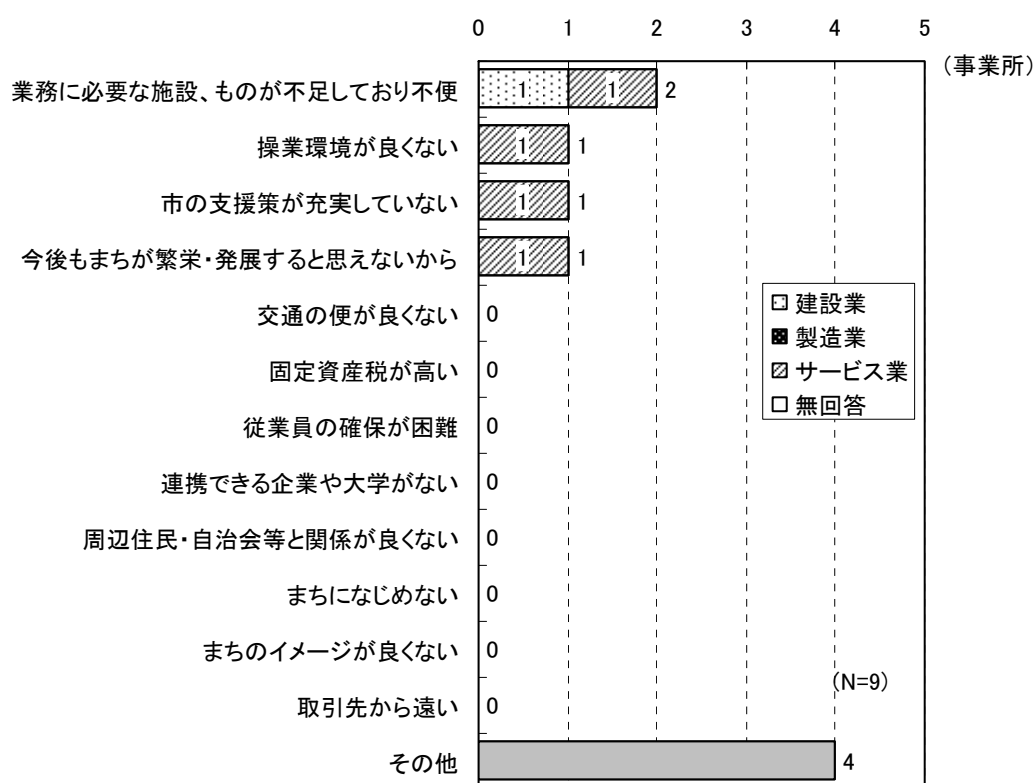


#### (4) 移転するかもしれない（したい）理由〔問 9〕

問 6 で「茨木市内で別の場所に移転するかもしれない」「いずれは市外に移転するかもしれない」「すぐにでも市外に移転したい」と回答した 9 事業所の移転の理由は、「その他」が最も多くなっており、その具体的な内容は、「広い事業場所がない」、「規模の拡大」、「入居ビルが建て替え予定」などである。

そのほかでは、「業務に必要な施設、ものが不足しており不便」が 2 事業所、「操業環境が良くない」「市の支援策が充実していない」「今後もまちが繁栄・発展すると思えないから」が各 1 事業所ずつとなっている。

図表II-9 移転するかもしれない理由(複数回答)



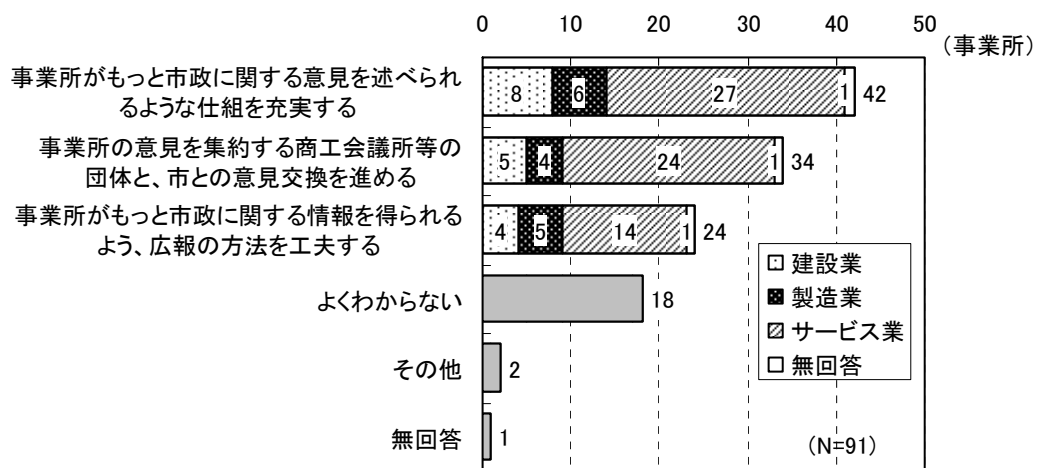
### 3. 行政と事業所との連携について

#### (1) 充実・拡大することが望ましい取り組み [問 10]

事業所と行政が連携するために充実・拡大することが望ましい取り組みは「事業所がもっと市政に関する意見を述べられるような仕組みを充実する」が42事業所で最も多く、ついで「事業所の意見を集約する商工会議所等の団体と、市との意見交換を進める」が34事業所であり、市に意見を述べたいとする回答が多い。

また、「事業所がもっと市政に関する情報を得られるよう、広報の方法を工夫する」が24事業所となっている。

図表II-10 充実・拡大することが望ましい取り組み（複数回答）

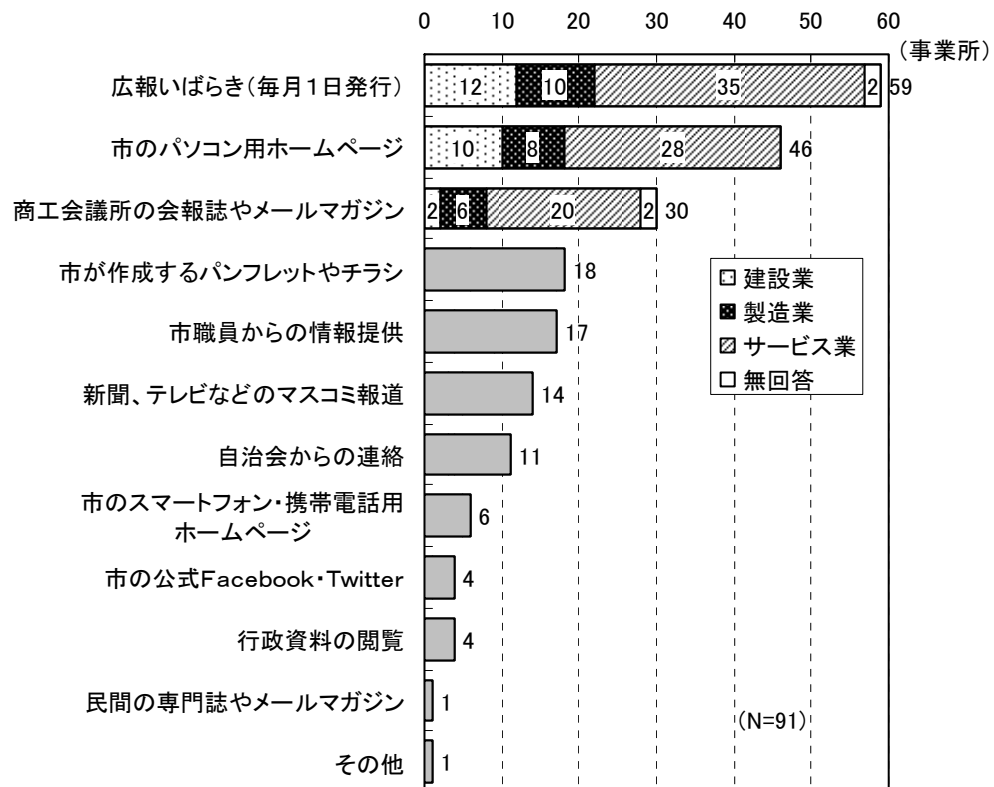


## 4. 行政に関する情報の入手方法について

### (1) 今後期待する情報入手手段〔問 11〕

今後期待する市政に関する情報の入手手段は「広報いばらき（毎月1日発行）」が 59 事業所で最も多く、ついで「市のパソコン用ホームページ」が 46 事業所、「商工会議所の会報誌やメールマガジン」が 30 事業所となっている。

図表II-11 今後期待する情報入手手段(複数回答)



## 5. 大学連携に関する取り組みについて

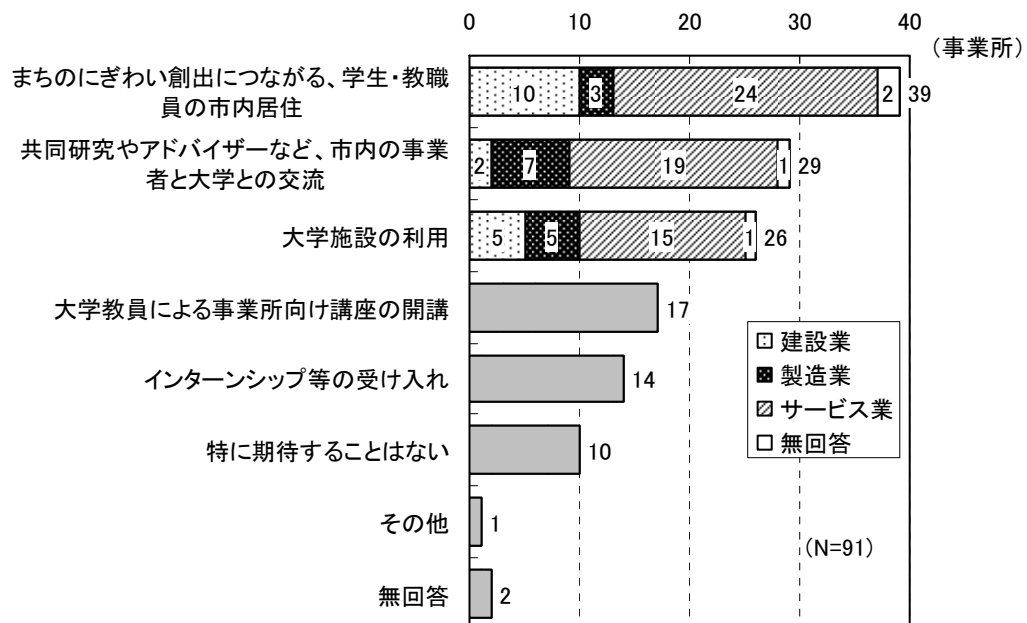
### (1) 最も重要だと思う大学連携に関する取り組み〔問 12〕

最も重要だと思う大学連携に関する取り組みは「まちのにぎわい創出につながる、学生・教職員の市内居住」が 39 事業所で最も多い。

ついで、「共同研究やアドバイザーなど、市内の事業者と大学との交流」が 29 事業所、「大学施設の利用」が 26 事業所となっており、産業資源としての役割も一定程度期待されていると考えられる。

一方、「インターンシップ等の受け入れ」は少なくなっている。

図表II-12 最も重要だと思う大学連携に関する取り組み（複数回答）



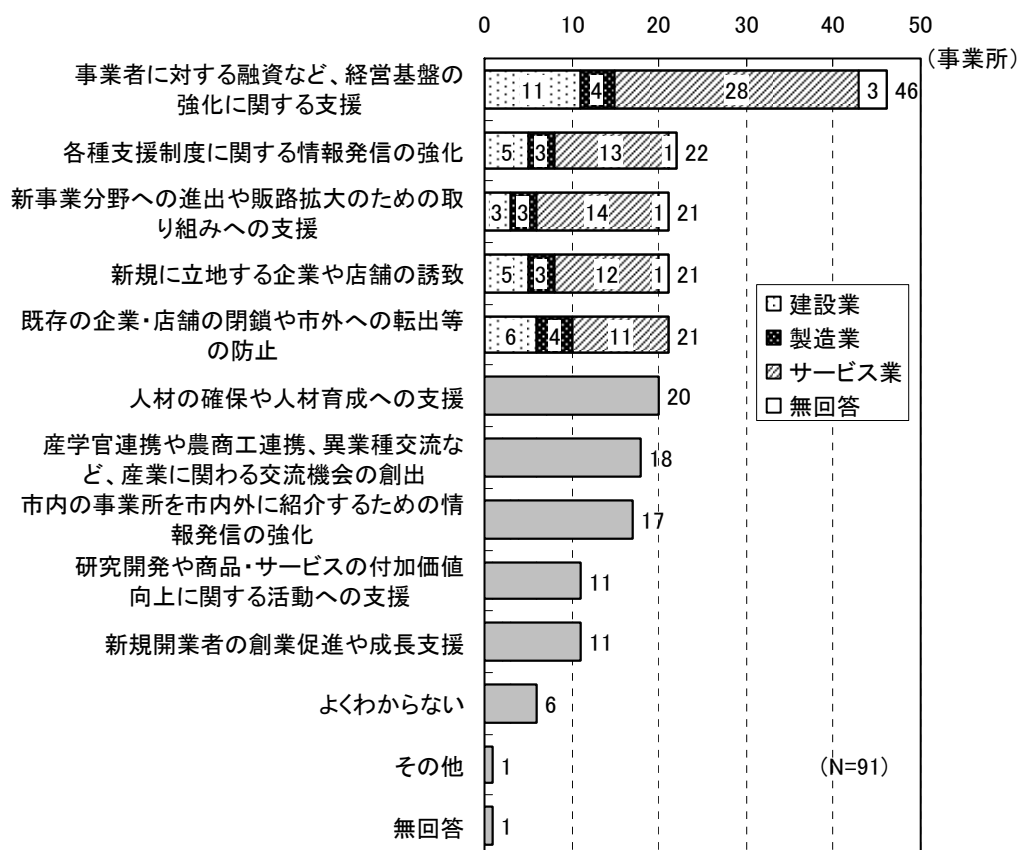
## 6. 産業振興に関する取り組みについて

### (1) 最も重要だと思う産業振興に関する取り組み [問 13]

最も重要だと思う産業振興に関する取り組みは「事業者に対する融資など、経営基盤の強化に関する支援」が46事業所で圧倒的に多い。

次に多いのは、「各種支援制度に関する情報発信の強化」(22事業所)、「新事業分野への進出や販路拡大のための取り組みへの支援」(21事業所)など、事業に関する直接の支援に関するもの、「新規に立地する企業や店舗の誘致」、「既存の企業・店舗の閉鎖や市外への転出等の防止」(各21事業所)など、企業立地に関するものである。

図表II-13 最も重要だと思う産業振興に関する取り組み(複数回答)

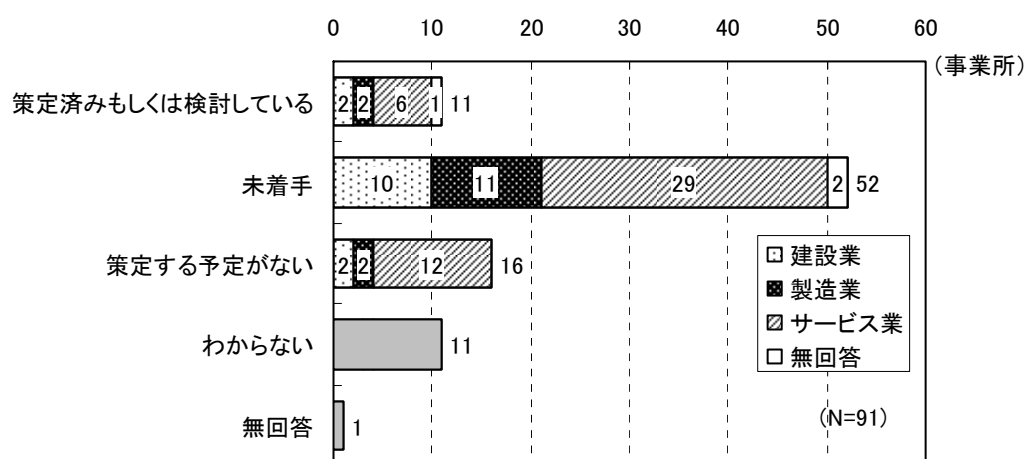


## 7. 防災に関する取り組みについて

### (1) 事業継続計画（BCP）の策定状況〔問 14〕

事業継続計画（BCP）の策定状況については「未着手」が52事業所、ついで「策定する予定がない」が16事業所となっている。本調査の回答事業所の多くが小規模事業所であることから、計画を策定する（検討する）余裕がないことも考えられる。

図表II-14 事業継続計画(BCP)の策定状況



(注)「事業継続計画(BCP)」とは、企業等が、大規模災害や感染症の流行、テロなどの緊急事態が発生した際に行うべき行動や、緊急時に備えて平常時に行っておくべき行動を、あらかじめ整理し、取り決めておく計画。

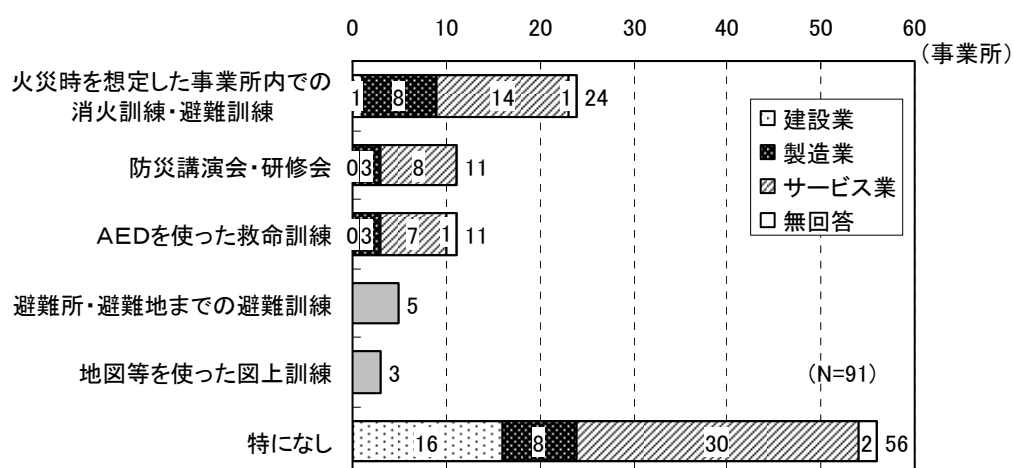


## (2) 実施・参加している訓練等〔問 15〕

従業員を対象に実施・参加している訓練等は「特になし」が 56 事業所で最も多く、災害や緊急事態への備えに対する意識の高揚を図る必要があると考えられる。

一方で、「火災時を想定した事業所内での消火訓練・避難訓練」を行っている事業所は 24 事業所、「防災講演会・研修会」、「AEDを使った救命訓練」を行っている事業所は各 11 事業所あり、日頃から災害や緊急事態に備えている事業所も一定程度あることがわかる。

図表Ⅱ-15 実施・参加している訓練等(複数回答)



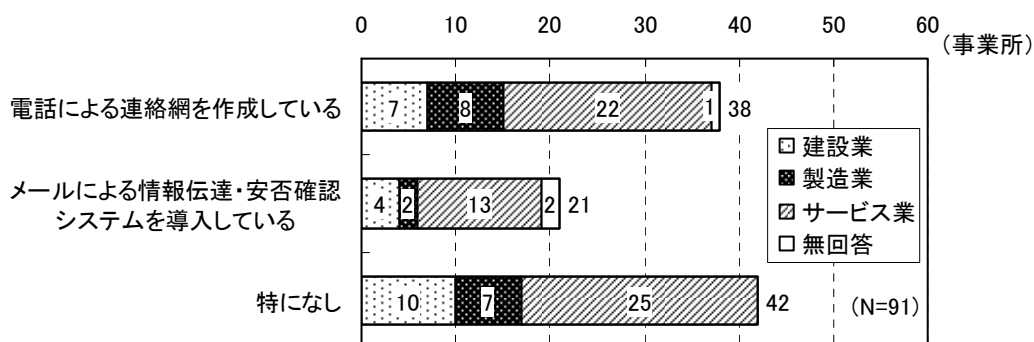
(注)「AED」とは、心停止を機械が自動的に解析し、必要に応じて電気的なショックを与え、心臓の働きを戻すことを試みる医療機器。

## (3) 従業員の安否確認のための連絡体制〔問 16〕

従業員の安否確認のための連絡体制は「特になし」が 42 事業所で最も多く、早急な対応を促す必要があると考えられる。

連絡体制を構築している事業所については、「電話による連絡網を作成している」が 38 事業所、「メールによる情報伝達・安否確認システムを導入している」が 21 事業所となっている。

図表Ⅱ-16 従業員の安否確認のための連絡体制

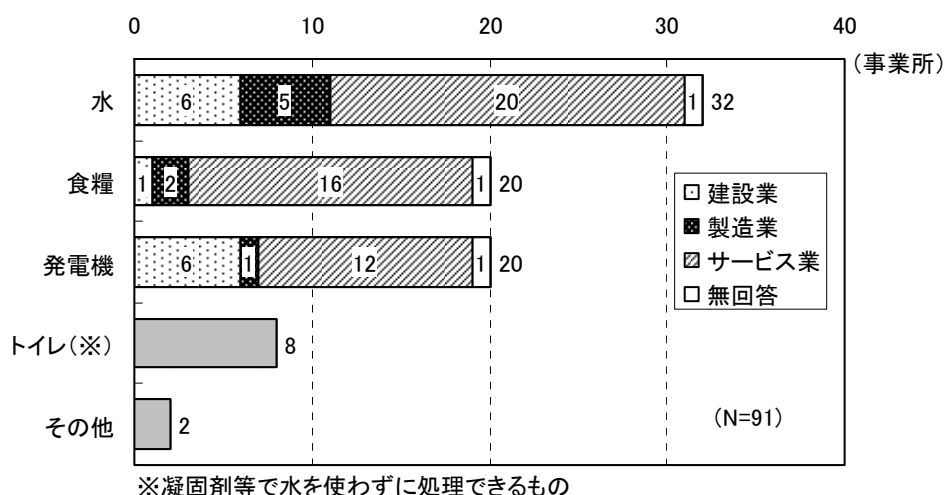


#### (4) 事業所に備えているもの [問 17]

大地震等により公共交通機関が途絶えた場合に、従業員を事業所にとどめておくために備えているものは「水」が 32 事業所で最も多く、ついで「食料」「発電機」が各 20 事業所ずつとなっている。

一方、災害時にニーズが高い「トイレ」を備えている事業所は 8 事業所にとどまっている。

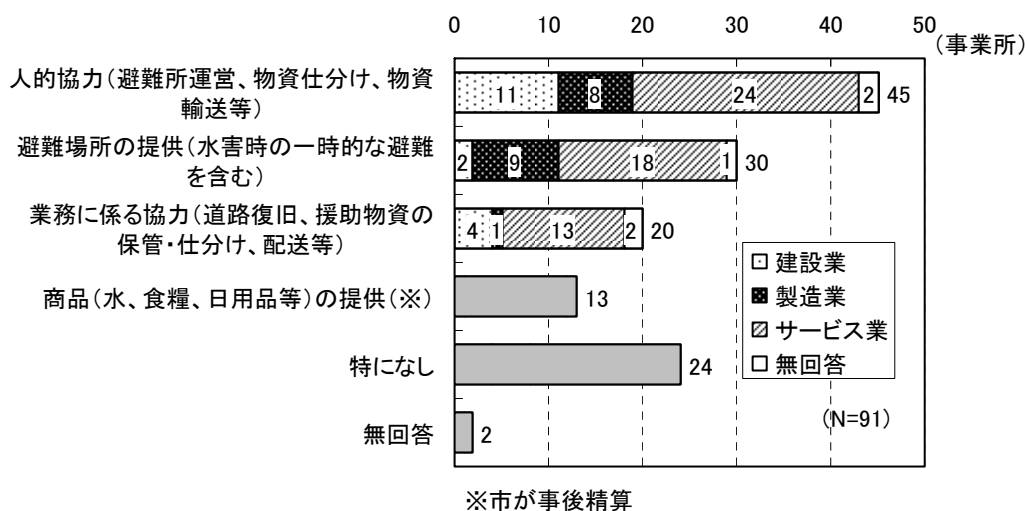
図表II-17 事業所に備えているもの(複数回答)



#### (5) 災害時にできる市や地域の防災活動等への協力 [問 18]

災害時にできる市や地域の防災活動等への協力内容は、「人的協力(避難所運営、物資仕分け、物資輸送等)」が 45 事業所で最も多く、ついで「避難場所の提供(水害時の一時的な避難を含む)」が 30 事業所ある一方で、24 事業所は「特になし」としている。

図表II-18 災害時にできる市や地域の防災活動等への協力(複数回答)

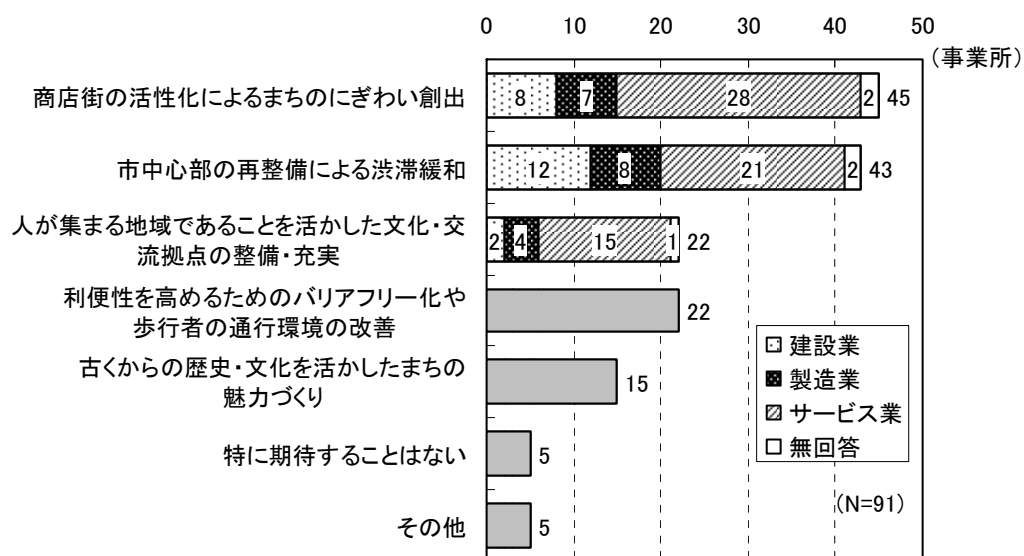


## 8. 茨木市のプロジェクトについて

### (1) 市中心部の整備に期待すること〔問 19〕

市中心部の整備について期待することは、「商店街の活性化によるまちのにぎわい創出」が 45 事業所で最も多く、ついで「市中心部の再整備による渋滞緩和」が 43 事業所となっており、事業活動に直接影響するような整備に対する期待が比較的大きいことがうかがえる。

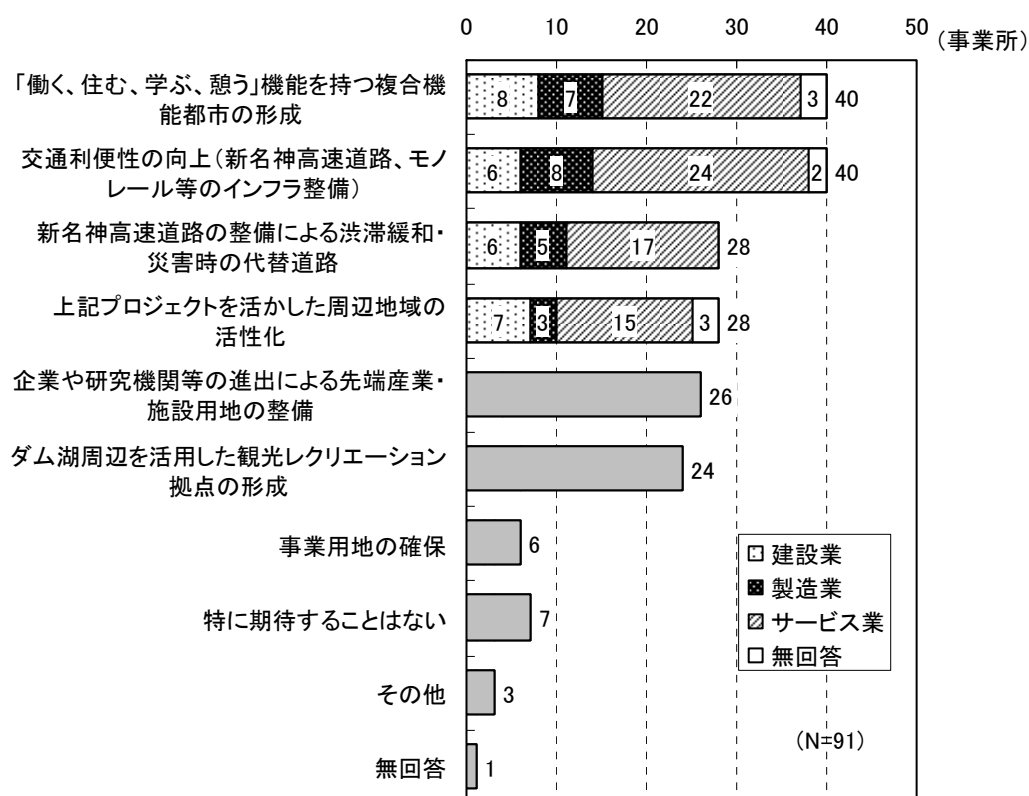
図表II-19 市中心部の整備に期待すること(複数回答)



## (2) 北部地域でのまちづくりに期待すること[問 20]

「彩都（国際文化公園都市）」「安威川ダム」「新名神高速道路」の3つのプロジェクトを含め、北部地域のまちづくりに期待することは「働く、住む、学ぶ、憩う」機能を持つ複合機能都市の形成、「交通利便性の向上（新名神高速道路、モノレール等のインフラ整備）」が各 40 事業所ずつ、「新名神高速道路の整備による渋滞緩和・災害時の代替道路」、「上記プロジェクトを活かした周辺地域の活性化」が各 28 事業所ずつとなっており、地域の活性化につながるような事業に対する期待が比較的大きいことがうかがえる。

図表II-20 北部地域でのまちづくりに期待すること(複数回答)

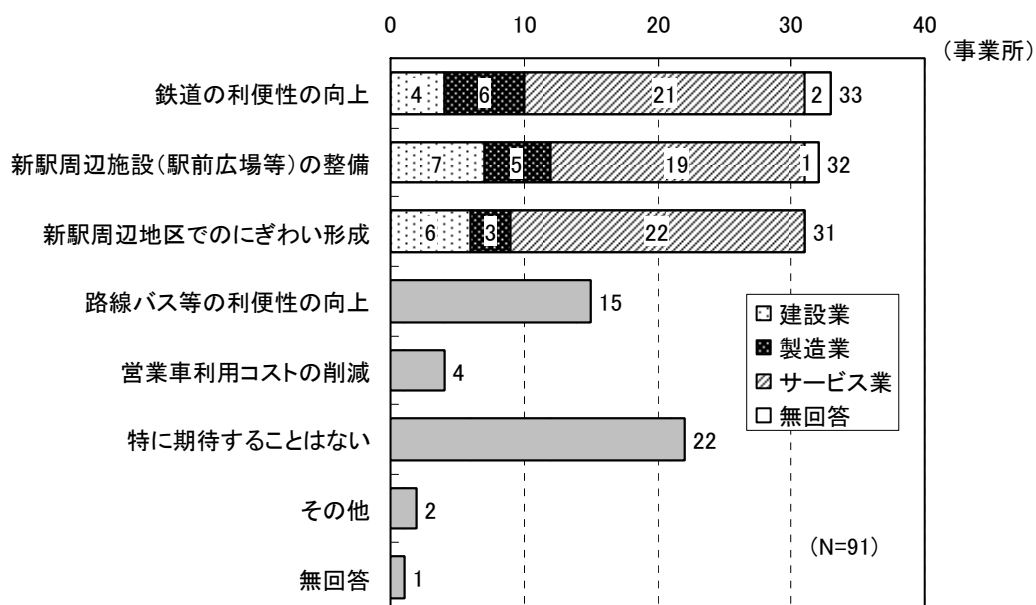


### (3) JR新駅開業(平成 30 年春予定)に期待すること[問 21]

J R 新駅（摂津富田・茨木駅間）の開業にあたって期待することは、「鉄道の利便性の向上」が 33 事業所で最も多く、ついで「新駅周辺施設（駅前広場等）の整備」が 32 事業所、「新駅周辺地区でのにぎわい形成」が 31 事業所となっている。

一方で、22 事業所が「特に期待することはない」としている。

図表II-21 JR 新駅の開業にあたって期待すること(複数回答)



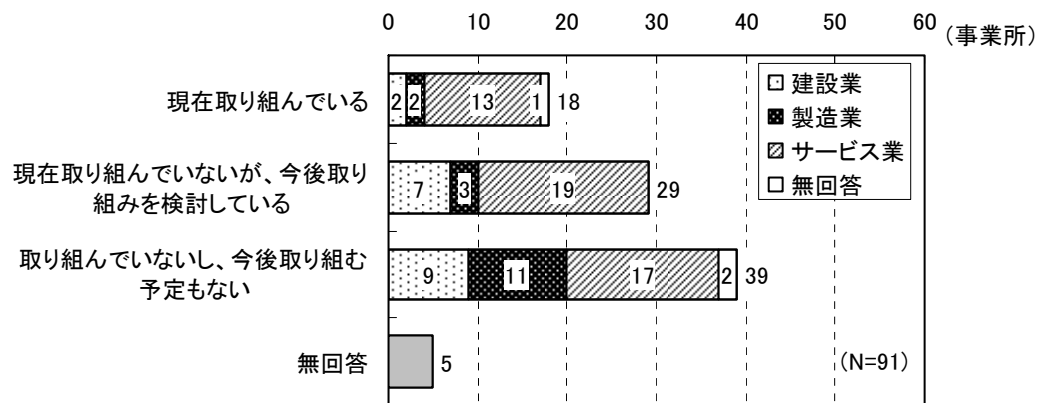
## 9. CSR(企業の社会的責任)について

### (1) CSR活動について [問 22]

CSR活動に「現在取り組んでいる」のは18事業所であり、「現在取り組んでいないが、今後取り組みを検討している」が29事業所である。

一方、「取り組んでいないし、今後取り組む予定もない」は39事業所で、最も多くなっている。

図表II-22 CSR活動について

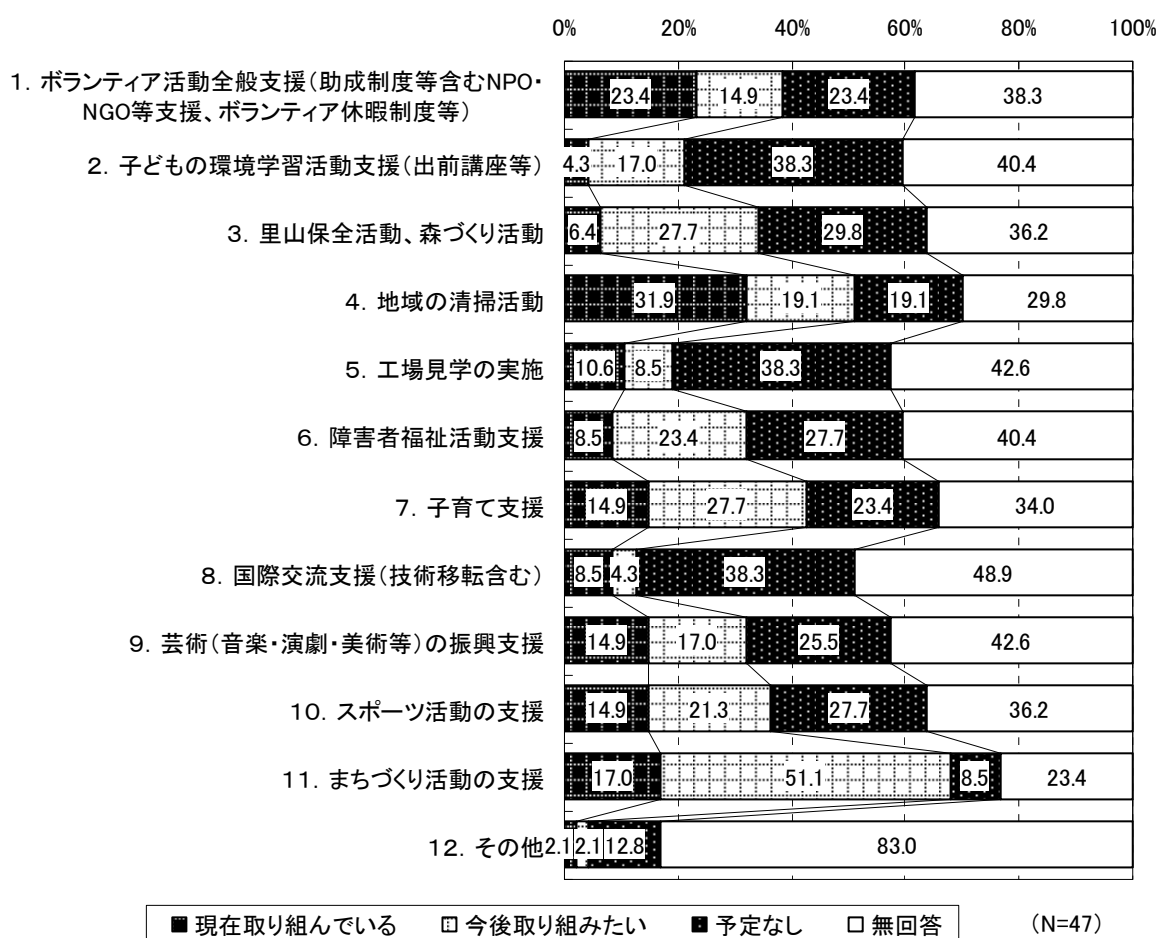


(注)「CSR」とは、「企業の社会的責任」の意味で、CSR活動とは、一般的に、法令遵守やリスクマネジメント、内部統制の徹底等の活動や、環境保全をはじめとする社会貢献活動などを指す。

## (2) 現在の取り組みや今後の取り組み [問 23]

問 22 で C S R 活動に「現在取り組んでいる」「現在取り組んでいないが、今後取り組みを検討している」と回答した 47 事業所について、現在の取り組みや今後の取り組みについて尋ねたところ、「現在取り組んでいる」「今後取り組みたい」の合計の割合が最も高いのは「11. まちづくり活動の支援」で 68.1% (17.0%+51.1%)、ついで「4. 地域の清掃活動」で 51.0% (31.9%+19.1%)、「7. 子育て支援」で 42.6% (14.9%+27.7%) となっており、比較的身近で取り組みやすい活動の割合が高いといえる。

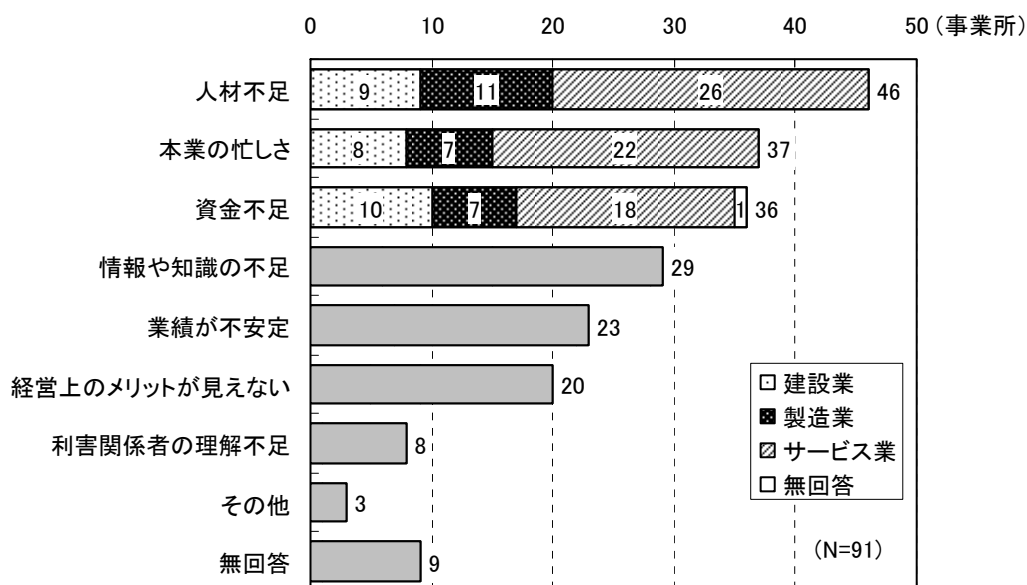
図表II-23 現在の取り組みや今後の取り組み



### (3) 取り組みを行う上での課題 [問 24]

C S Rの取り組みを行う上での課題としては、46 事業所が「人材不足」を挙げており、  
 ついで「本業の忙しさ」が 37 事業所、「資金不足」が 36 事業所となっており、本調査の  
 回答事業所の多くが小規模事業所であることが影響していると考えられる。

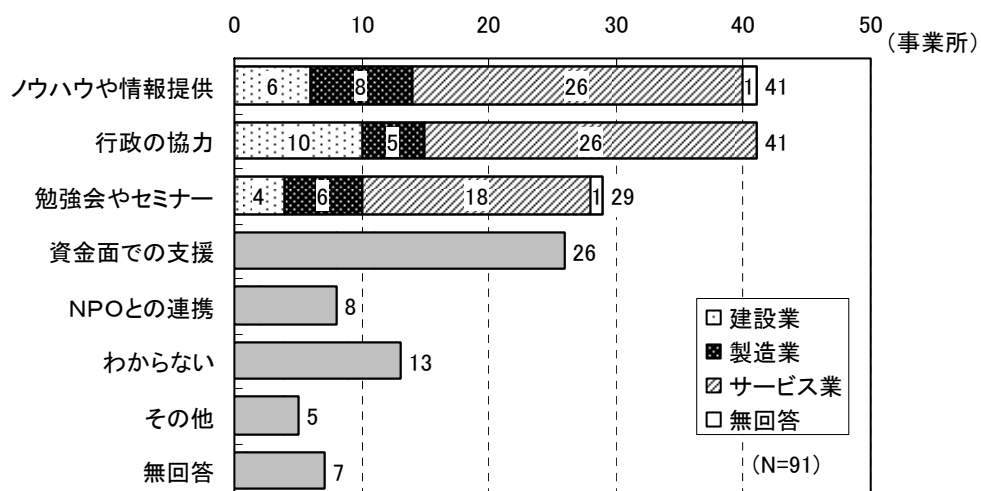
図表Ⅱ-24 取り組みを行う上での課題(複数回答)



### (4) 活動を進めるために必要な支援 [問 25]

C S R活動を進めるために必要な支援は、「ノウハウや情報提供」「行政の協力」が各  
 41 事業ずつで最も多く、ついで「勉強会やセミナー」が 29 事業所となっている。

図表Ⅱ-25 活動を進めるために必要な支援(複数回答)

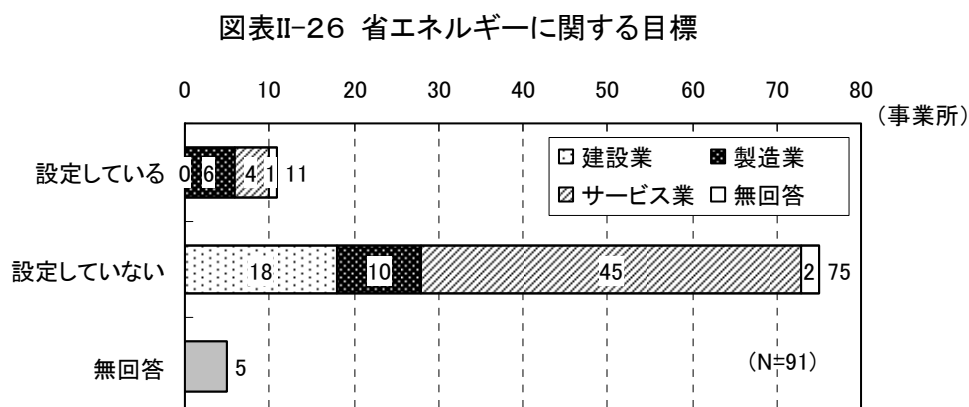




## 10. 環境(エネルギー)に関する取り組みについて

### (1) 省エネルギーに関する目標 [問 26]

省エネルギーに関する目標は、「設定している」が 11 事業所、「設定していない」が 75 事業所となっており、大半の事業所が設定していない状況である。



### (2) 具体的な目標値等 [問 27]

問 26 で省エネルギーに関する目標を「設定している」と回答した 11 事業所の、具体的な目標値等は次の通りである。

ほとんどの事業所で電気についての目標値が設定されており、電力会社からの節電要請や、節電意識の高揚等の影響がうかがえる。

図表II-27 具体的な目標値等

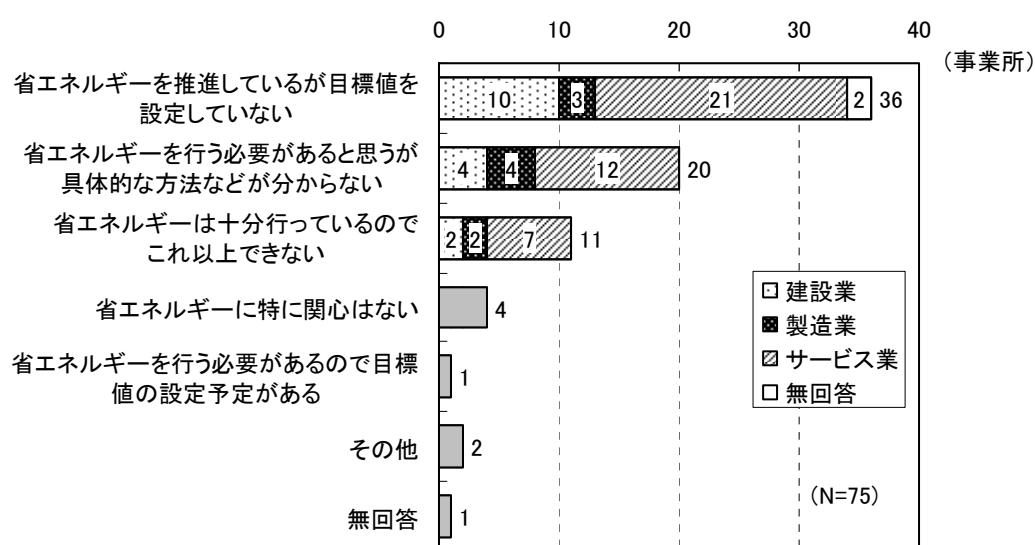
|    | 基準年<br>(年度) | 目標年<br>(年度) | 削減目標                    |
|----|-------------|-------------|-------------------------|
| 1  | 平成 22 年     | 平成 26 年     | 電気で4%、ガソリンで4%           |
| 2  | 平成 23 年     | 平成 27 年     | 電気で 10%                 |
| 3  | 平成 24 年     | 平成 29 年     | 電気で2%、ガソリンで5%、総エネルギーで7% |
| 4  | 平成 24 年     | 平成 30 年     | 電気で 30%、ガソリンで 20%       |
| 5  | 平成 24 年     | 平成 25 年     | 総エネルギーで1%               |
| 6  | 平成 23 年     | 平成 24 年     | 電気で 15%                 |
| 7  | 平成 23 年     | 平成 24 年     | 電気で3%、ガスで3%、ガソリンで5%     |
| 8  | 平成 23 年     | 平成 28 年     | 電気で 10%                 |
| 9  | 平成 22 年     | 平成 25 年     | 無回答                     |
| 10 | 平成 24 年     | 平成 25 年     | 電気で5%、ガスで5%             |
| 11 | 平成 24 年     | 平成 25 年     | 電気で1%、総エネルギーで1%         |

### (3) 目標を設定していない理由 [問 28]

問 26 で省エネルギーに関する目標を「設定していない」と回答した 75 事業所の、目標を設定しない理由については、「省エネルギーを推進しているが目標値を設定していない」が 36 事業所、「省エネルギーは十分行っているのでこれ以上できない」が 11 事業所であり、これらの事業所では、目標設定は行われていないものの、省エネルギーにつながる取り組み自体は行われていると考えられる。

一方で、「省エネルギーを行う必要があると思うが具体的な方法などが分からない」が 20 事業所であり、これらの事業所については、啓発による取り組み開始が期待できる。

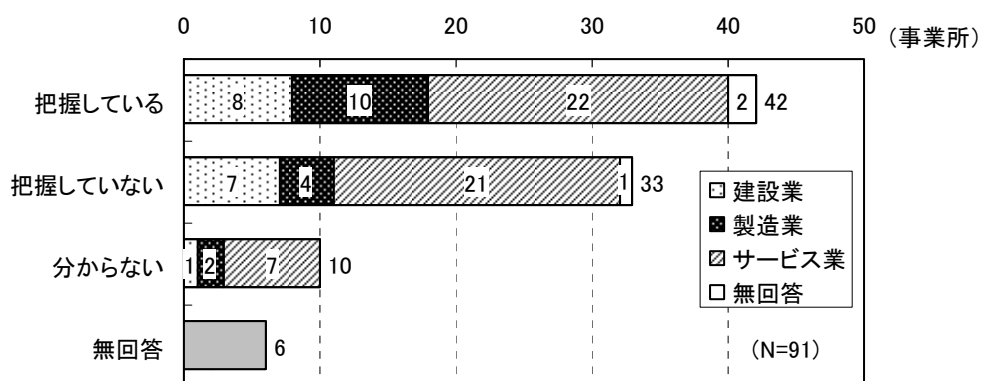
図表Ⅱ-28 目標を設定していない理由(複数回答)



#### (4) エネルギー消費量の把握状況 [問 29]

事業所のエネルギー消費量は「把握している」が 42 事業所で最も多く、ついで「把握していない」が 33 事業所、「わからない」が 10 事業所となっている。

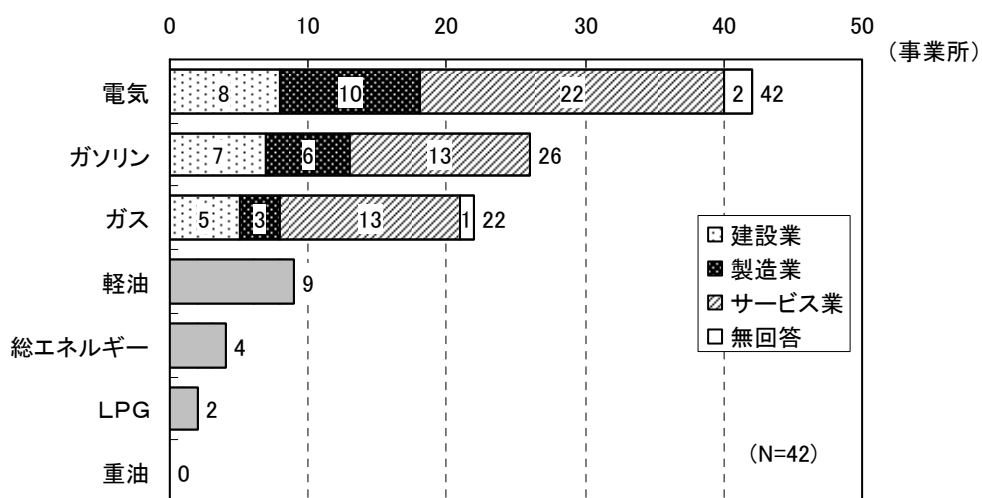
図表II-29 エネルギー消費量の把握



#### (5) 把握しているエネルギー種別 [問 30]

問 29 で事業所のエネルギー消費量を「把握している」と回答した 42 事業所では、全ての事業所で「電気」の消費量が把握されているほか、26 事業所で「ガソリン」、22 事業所で「ガス」の消費量が把握されている。一方、「総エネルギー」を把握しているのは、4 事業所にとどまっている。

図表II-30 把握しているエネルギー種別(複数回答)

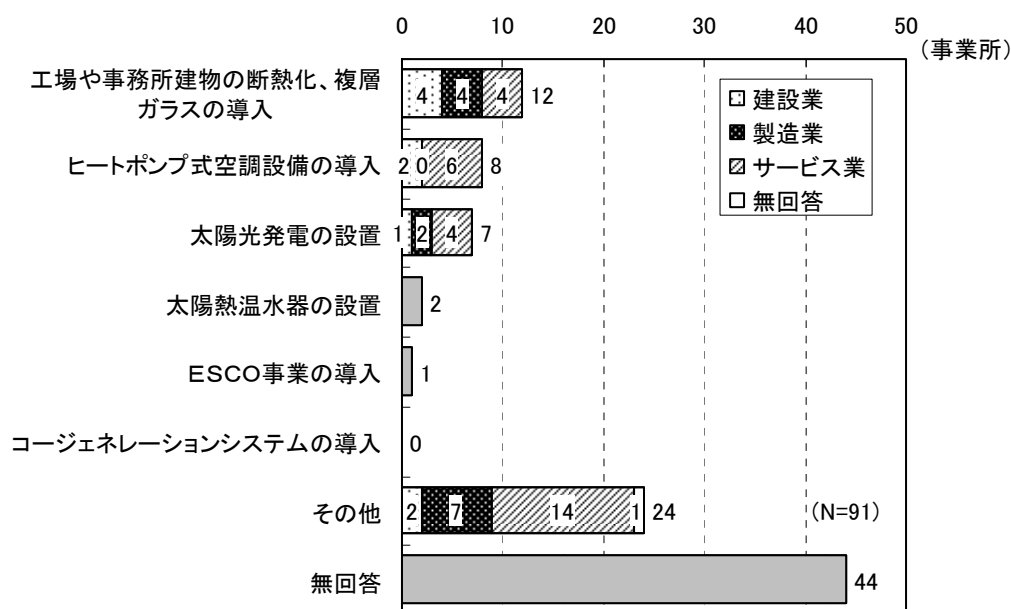


# (6) 省エネルギーの工夫や新エネルギーの導入状況 [問 31]

事業所で行っている省エネルギーの工夫や導入されている新エネルギーについては、「その他」と回答した事業所が 24 事業所で最も多く、その具体的な内容で最も多いのは、照明器具の削減、こまめなスイッチオフ、LED 照明への交換など、照明に関するものであり、多額の設備投資を伴う取り組みよりも、身近でできることから行っている事業所が多いと考えられる。

そのほかで多い取り組みは、「工場や事務所建物の断熱化、複層ガラスの導入」が 12 事業所、「ヒートポンプ式空調設備の導入」が 8 事業所、「太陽光発電の設置」が 7 事業所となっている。

図表II-31 省エネルギーの工夫や新エネルギーの導入(複数回答)

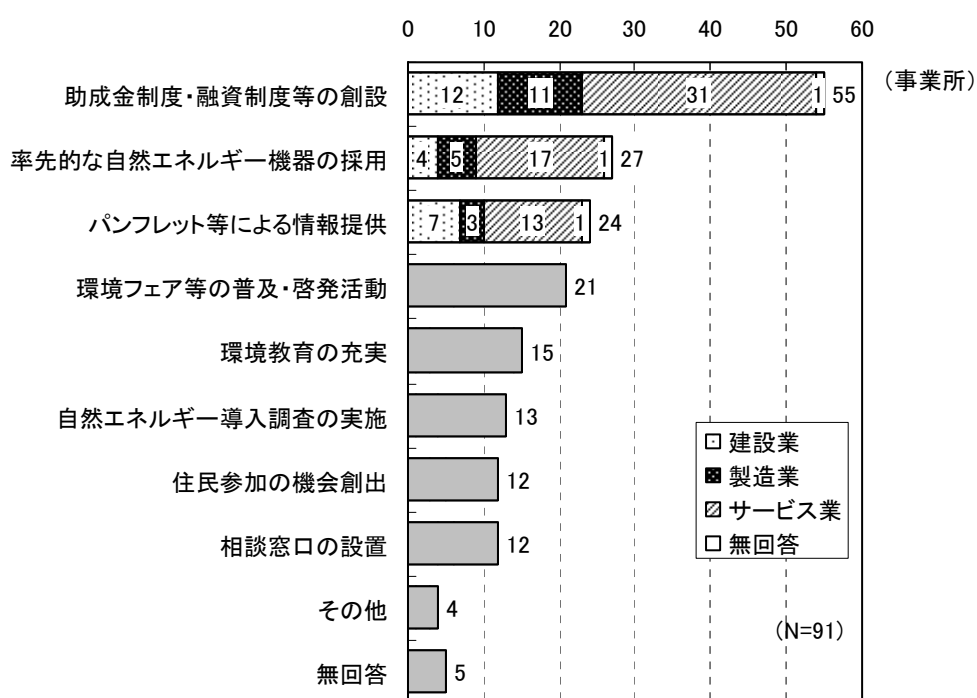


# (7) 最も重要だと思う省エネ、新エネ導入に対する取り組み〔問 32〕

省エネ、新エネの導入に対する市の取り組みとして最も重要だと思われるものは「助成金制度・融資制度等の創設」が 55 事業所で圧倒的に多く、経済的な支援が受けられれば、省エネや新エネの導入に積極的に取り組もうと考える事業者が多いことが考えられる。

ついで、「率先的な自然エネルギー機器の採用」が 27 事業所、「パンフレット等による情報提供」が 24 事業所となっている。

図表Ⅱ-32 最も重要だと思う省エネ、新エネ導入に対する取り組み(複数回答)

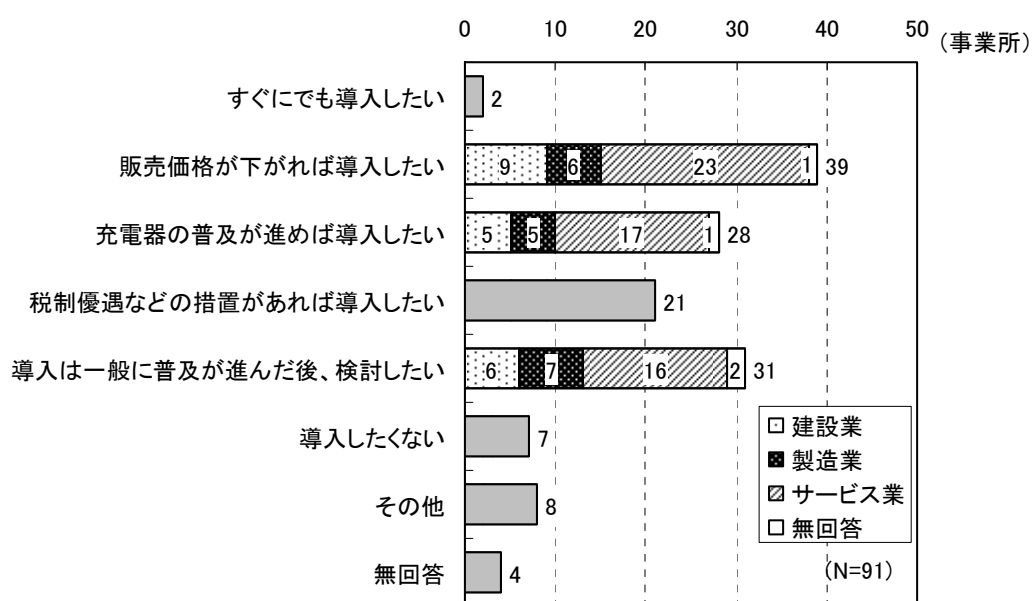


# (8) 社有車としての電気自動車導入 [問 33]

社有車としての電気自動車の導入については、「販売価格が下がれば導入したい」が 39 事業所で最も多く、ついで「導入は一般に普及が進んだ後、検討したい」が 31 事業所となっており、今後普及が進み、価格が下がることで、導入する事業所が増えることが考えられる。

また、「充電器の普及が進めば導入したい」が 28 事業所となっており、インフラ整備による利便性向上が導入促進につながることも考えられる。

図表Ⅱ-33 社有車としての電気自動車の導入(複数回答)

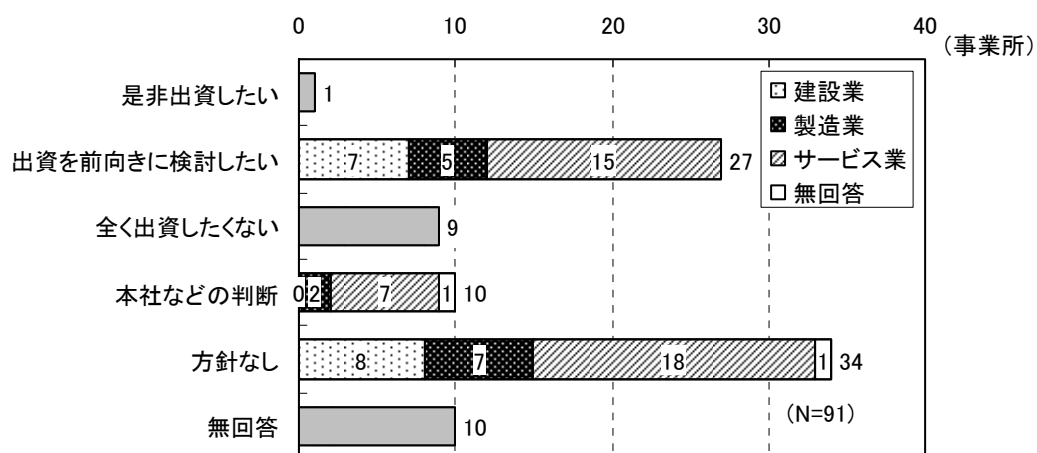


# (9) 大規模太陽光発電への出資意向 [問 34]

企業や市民から出資を募り、公共施設や遊休地に大規模太陽光発電を設置する場合の出資については、「方針なし」が 34 事業所で最も多く、今後は理解促進のための積極的な働きかけが必要であると考えられる。

一方で、1 事業所が「是非出資したい」、27 事業所が「出資を前向きに検討したい」としており、事業を実施する際のパートナーとして期待できる。

図表Ⅱ-34 大規模太陽光発電への出資意向

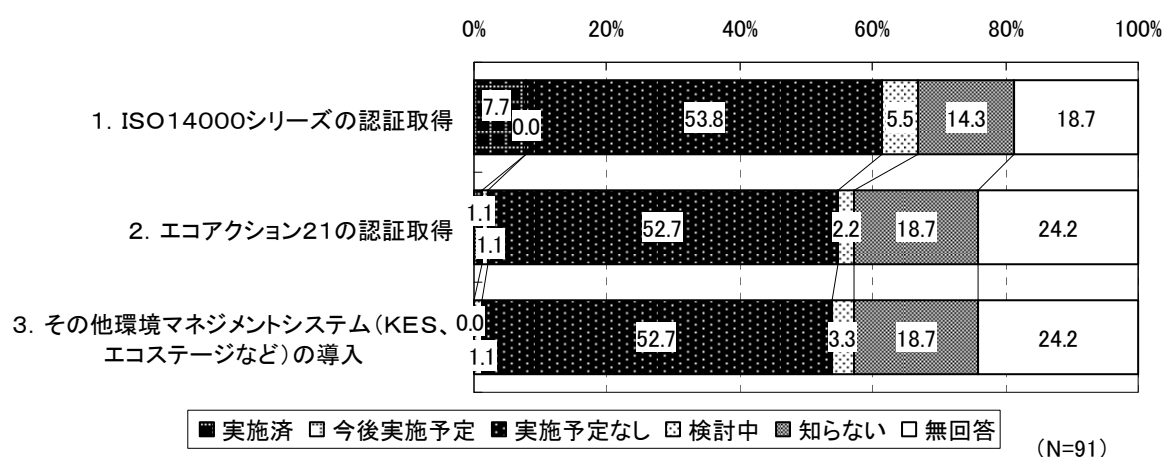


# (10) 環境に関する社内制度等 [問 35]

環境マネジメントシステムや環境に関する社内制度については、いずれの項目についても、「実施予定なし」が半数を超えている。

「実施済み」もしくは「今後実施予定」と回答している事業所は、「1. ISO14000 シリーズの認証取得」で 7.7% (7.7%+0.0%)、「2. エコアクション 21 の認証取得」で 2.2% (1.1%+1.1%)、「3. その他環境マネジメントシステム (KES、エコステージなど) の導入」で 1.1% (0.0%+1.1%) となっている。

図表II-35 環境に関する社内制度等





## 【参考資料】 アンケート調査票



# 茨木市のまちづくりに関するアンケート

## 《ご協力のお願い》

平素から、皆さまには市政にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

さて、本市では、まちづくりの基本指針である「第4次茨木市総合計画」に基づいて、皆さまのご協力のもと施策を推進しておりますが、本計画が平成 27 年度に目標年次を迎えるため、これに続く「(仮称)第5次茨木市総合計画」の策定に向けた取り組みを進めているところです。

策定にあたりましては、事業所の皆さまが日頃まちづくりについて考えておられることや、まちづくりに対する率直なご意見などをお伺いし、基礎資料として役立てていきたいと考えております。

つきましては、ご多用のところ誠に恐れ入りますが、アンケート調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成 25 年 3 月

茨 木 市

### 【アンケートの取扱について】

1. このアンケートは、茨木商工会議所のご協力のもと、商工会議所に加盟している事業所を対象に、調査票をお送りしています。
2. 無記名でお答えいただき、すべてのお答えをコンピュータで統計的に処理したうえで取りまとめますので、各事業所のお答えの内容が明らかになることはありません。
3. このアンケートの結果を、上記の目的である基礎資料以外に使用することはありません。

### 【返送について】

お答えいただいた調査票は、3月11日(月)までに、同封の返信用封筒に入れて、郵便ポストに投函してください。切手は不要です。

### ■アンケートに関する問い合わせ先

茨木市 企画財政部 政策企画課

〒567-8505 茨木市駅前三丁目8番13号(茨木市役所 南館3階)

電話：072-620-1605 FAX：072-623-3025

Eメール：soukei@city.ibaraki.lg.jp

## 1. 貴事業所について

問1 貴事業所の業種について、あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- |                 |                     |
|-----------------|---------------------|
| 1. 鉱業、採石業、砂利採取業 | 2. 建設業              |
| 3. 製造業          | 4. 電気、ガス、熱供給、水道業    |
| 5. 情報通信業        | 6. 運輸業、郵便業          |
| 7. 卸売業、小売業      | 8. 金融業、保険業          |
| 9. 不動産業、物品賃貸業   | 10. 学術研究、専門・技術サービス業 |
| 11. 宿泊業、飲食サービス業 | 12. 生活関連サービス業、娯楽業   |
| 13. 教育、学習支援業    | 14. 医療、福祉           |
| 15. 複合サービス業     | 16. その他のサービス業       |

問2 貴事業所の従業員数（パート・アルバイトの方を含む）について、あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- |           |             |           |
|-----------|-------------|-----------|
| 1. 1～9人   | 2. 10～29人   | 3. 30～49人 |
| 4. 50～99人 | 5. 100～299人 | 6. 300人以上 |

問3 貴事業所の現在の場所での操業（営業）年数について、あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- |           |           |           |
|-----------|-----------|-----------|
| 1. 3年未満   | 2. 3～9年   | 3. 10～19年 |
| 4. 20～29年 | 5. 30～49年 | 6. 50年以上  |

問4 貴事業所について、あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- |          |          |
|----------|----------|
| 1. 本社・本店 | 2. 支所・支店 |
|----------|----------|

問5 貴事業所の所在地についてご記入ください。（例：●●町、▲▲二丁目）

|  |
|--|
|  |
|--|

## 2. 今後の事業意向について

問6 今後も現在の場所で事業を続けたいと思われますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- |                         |                   |
|-------------------------|-------------------|
| 1. 現在の場所で事業を続けたい        | →問7・8にもお答えください    |
| 2. 茨木市内で別の場所に移転するかもしれない | →問7・9にもお答えください    |
| 3. いずれは市外に移転するかもしれない    | } →問9にお進みください     |
| 4. すぐにでも市外に移転したい        |                   |
| 5. わからない                | →次ページの問10にお進みください |

問7 (問6で「1. 現在の場所で事業を続けたい」、「2. 茨木市内で別の場所に移転するかもしれない」とお答えになった事業所にお聞きします。)  
市内での今後の事業規模について、あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- |          |            |
|----------|------------|
| 1. 拡大したい | 2. 現状維持    |
| 3. 縮小したい | 4. よくわからない |

問8 (問6で「1. 現在の場所で事業を続けたい」とお答えになった事業所にお聞きします。)  
その理由について、最もあてはまるものに3つまで○をつけてください。

- |                    |                      |                        |
|--------------------|----------------------|------------------------|
| 1. 操業環境が良い         | 2. 交通の便が良い           | 3. 移転する資金がない           |
| 4. 市内在住の従業員が多い     | 5. 連携できる企業や大学がある     | 6. 市の支援策が充実している        |
| 7. 周辺住民・自治会等と関係が良い | 8. 業務に必要な施設、ものがそろい便利 | 9. 愛着がある               |
| 10. まちのイメージが良い     | 11. 取引先に近いから         | 12. 今後もまちが繁栄・発展すると思うから |
| 13. その他(具体的に: )    |                      |                        |

問9 (問6で「2. 茨木市内で別の場所に移転するかもしれない」、「3. いずれは市外に移転するかもしれない」、「4. すぐにでも市外に移転したい」とお答えになった事業所にお聞きします。)  
その理由について、最もあてはまるものに3つまで○をつけてください。

- |                      |                         |                          |
|----------------------|-------------------------|--------------------------|
| 1. 操業環境が良くない         | 2. 交通の便が良くない            | 3. 固定資産税が高い              |
| 4. 市内在住の従業員が少ない      | 5. 連携できる企業や大学がない        | 6. 市の支援策が充実していない         |
| 7. 周辺住民・自治会等と関係が良くない | 8. 業務に必要な施設、ものが不足しており不便 | 9. まちになじめない              |
| 10. まちのイメージが良くない     | 11. 取引先から遠い             | 12. 今後もまちが繁栄・発展すると思えないから |
| 13. その他(具体的に: )      |                         |                          |

### 3. 行政と事業所との連携について

問 10 市の発展にむけて事業所と行政が連携するためには、今後どのような取り組みを充実・拡大することが望ましいと思われますか。あてはまるものに2つまで○をつけてください。

1. 事業所の意見を集約する商工会議所等の団体と、市との意見交換を進める
2. 事業所がもっと市政に関する情報を得られるよう、広報の方法を工夫する
3. 事業所がもっと市政に関する意見を述べられるような仕組みを充実する
4. よくわからない
5. その他（具体的に： \_\_\_\_\_）

### 4. 市政に関する情報の入手方法について

問 11 貴事業所は、市政に関する情報入手の手段として、今後どのような方法を期待しますか。あてはまるものに3つまで○をつけてください。

- |                          |                          |
|--------------------------|--------------------------|
| 1. 広報いばらき（毎月1日発行）        | 2. 市のパソコン用ホームページ         |
| 3. 市のスマートフォン・携帯電話用ホームページ | 4. 市の公式 Facebook・Twitter |
| 5. 新聞、テレビなどのマスコミ報道       | 6. 市職員からの情報提供            |
| 7. 自治会からの連絡              | 8. 市が作成するパンフレットやチラシ      |
| 9. 行政資料の閲覧               | 10. 商工会議所の会報誌やメールマガジン    |
| 11. 民間の専門誌やメールマガジン       | 12. その他（具体的に： _____）     |

### 5. 大学連携に関する取り組みについて

問 12 大学連携に関する取り組みについて、貴事業所が最も重要だと思われるものはどれですか。あてはまるものに2つまで○をつけてください。

1. 大学教員による事業所向け講座の開講
2. インターンシップ等の受け入れ
3. 大学施設の利用
4. まちのにぎわい創出につながる、学生・教職員の市内居住
5. 共同研究やアドバイザーなど、市内の事業者と大学との交流
6. その他（具体的に： \_\_\_\_\_）
7. 特に期待することはない

## 6. 産業振興に関する取り組みについて

問 13 市が行う産業振興に関する取り組みについて、貴事業所が最も重要だと思われるものはどれですか。あてはまるものに3つまで○をつけてください。

1. 事業者に対する融資など、経営基盤の強化に関する支援
2. 研究開発や商品・サービスの付加価値向上に関する活動への支援
3. 新事業分野への進出や販路拡大のための取り組みへの支援
4. 産学官連携や農商工連携、異業種交流など、産業に関わる交流機会の創出
5. 新規に立地する企業や店舗の誘致
6. 既存の企業・店舗の閉鎖や市外への転出等の防止
7. 新規開業者の創業促進や成長支援
8. 人材の確保や人材育成への支援
9. 各種支援制度に関する情報発信の強化
10. 市内の事業所を市内外に紹介するための情報発信の強化
11. その他（具体的に： \_\_\_\_\_）
12. よくわからない

## 7. 防災に関する取り組みについて

問 14 貴事業所では災害に備えて事業継続計画（BCP）を策定していますか。  
あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- |                   |        |
|-------------------|--------|
| 1. 策定済みもしくは検討している | 2. 未着手 |
|-------------------|--------|

問 15 貴事業所で従業員を対象に実施・参加している訓練等について、あてはまるものすべてに○をつけてください。

- |                                                                                                                                                                      |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ol style="list-style-type: none"><li>1. 防災講演会・研修会</li><li>2. AEDを使った救命訓練</li><li>3. 消火訓練</li><li>4. 避難所・避難地までの避難訓練</li><li>5. 地図等を使った図上訓練</li><li>6. 特になし</li></ol> |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

問 16 貴事業所での従業員の安否確認のための連絡体制について、あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. メールによる情報伝達・安否確認システムを導入している
2. 電話による連絡網を作成している
3. 特になし

問 17 大地震等により公共交通機関が途絶えた場合に、従業員を事業所にとどめておく必要がありますが、次のものは備えていますか。あてはまるものに 1 つだけ○をつけてください。

|                               |  | 備蓄している<br>(備えている) | 備蓄していない<br>(備えていない) |
|-------------------------------|--|-------------------|---------------------|
| (回答例) 水                       |  | ○                 |                     |
| 1. 水                          |  |                   |                     |
| 2. 食糧                         |  |                   |                     |
| 3. トイレ<br>※凝固剤等で水を使わずに処理できるもの |  |                   |                     |
| 4. 発電機                        |  |                   |                     |

問 18 貴事業所は災害時に市や地域の防災活動等に協力していただけますか。  
あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 避難場所の提供（水害時の一時的な避難を含む）
2. 商品（水、食糧、日用品等）の提供 ※市が事後精算します  
具体的な商品（ ）
3. 人的協力（避難所運営、物資仕分け、物資輸送等）
4. 業務に係る協力（道路復旧、援助物資の保管・仕分け、配送等）  
具体的な内容（ ）
5. 特になし



## 8. 茨木市のプロジェクトについて

茨木市では現在、以下に挙げる大きなプロジェクトが進行、または検討段階にあります。これらのプロジェクトについて、貴事業所が期待することをお聞かせください。

### (1) 市中心部の整備

問 19 市中心部の整備について、期待することは何ですか。あてはまるものに2つまで○をつけてください。

1. 商店街の活性化によるまちのにぎわい創出
2. 人が集まる地域であることを活かした文化・交流拠点の整備・充実
3. 古くからの歴史・文化を活かしたまちの魅力づくり
4. 利便性を高めるためのバリアフリー化や歩行者の通行環境の改善
5. 市中心部の再整備による渋滞緩和
6. その他（具体的に： \_\_\_\_\_）
7. 特に期待することはない

### (2) 北部地域でのまちづくり

北部地域では現在、3つのプロジェクト「彩都（国際文化公園都市）、安威川ダム、新名神高速道路」が進められています。

問 20 これらのプロジェクトを含め、北部地域の整備に期待することは何ですか。あてはまるものに3つまで○をつけてください。

1. 「働く、住む、学ぶ、憩う」機能を持つ複合機能都市の形成
2. 企業や研究機関等の進出による先端産業・施設用地の整備
3. ダム湖周辺を活用した観光レクリエーション拠点の形成
4. 交通利便性の向上（新名神高速道路、モノレール等）
5. 新名神高速道路の整備による渋滞緩和・災害時の代替道路
6. 上記プロジェクトを活かした周辺地域の活性化
7. 事業用地の確保
8. その他（具体的に： \_\_\_\_\_）
9. 特に期待することはない

(3) JR 新駅（摂津富田駅・茨木駅間、庄一丁目）開業（平成 30 年春開業予定）

問 21 JR 新駅の整備にあたって、期待することは何ですか。あてはまるものに2つまで○をつけてください。

- |                     |   |
|---------------------|---|
| 1. 鉄道の利便性の向上        |   |
| 2. 路線バス等の利便性の向上     |   |
| 3. 新駅周辺施設（駅前広場等）の整備 |   |
| 4. 営業車の利用の減少        |   |
| 5. 新駅周辺地区でのにぎわい形成   |   |
| 6. その他（具体的に：        | ） |
| 7. 特に期待することはない      |   |



問 24 CSR の取り組みを行う上での課題としてどのようなことがありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 人材不足
2. 本業の忙しさ
3. 情報や知識の不足
4. 業績が不安定
5. 資金不足
6. 経営上のメリットが見えない
7. 利害関係者の理解不足
8. その他（ ）

問 25 今後、CSR の活動を進めるためにどのような支援が必要と感じますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. ノウハウや情報提供
2. 行政の協力
3. 勉強会やセミナー
4. 資金面での支援
5. NPOとの連携
6. わからない
7. その他（ ）

## 10. 環境（エネルギー）に関する取り組みについて

本市では、環境基本計画の策定に向けた取り組みも進めています。以下は、環境基本計画に関する設問です。貴事業所におけるエネルギーに関する取り組みについておたずねします。

問 26 貴事業所は、省エネルギーに関する目標を設定されていますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

1. 設定している → 問 27 にお進みください
2. 設定していない → 問 28 にお進みください

問 27（問 26 で「1. 設定している」とお答えになった事業所にお聞きします。）  
具体的な目標値等をご記入ください。

【基準年（度）及び目標年（度）】

年（度）を基準として  年（度）まで

【削減目標】

|           | % |
|-----------|---|
| （回答例）電気   | 5 |
| 1. 電気     |   |
| 2. ガス     |   |
| 3. ガソリン   |   |
| 4. 軽油     |   |
| 5. L P G  |   |
| 6. 重油     |   |
| 7. 総エネルギー |   |

問 28（問 26 で「2. 設定していない」とお答えになった事業所にお聞きします。）  
あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

1. 省エネルギーは十分行っているのでこれ以上できない
2. 省エネルギーを推進しているが目標値を設定していない
3. 省エネルギーを行う必要があるので目標値の設定予定がある
4. 省エネルギーを行う必要があると思うが具体的な方法などが分からない
5. 省エネルギーに特に関心はない
6. その他（  ）

問 29 貴事業所において、エネルギー消費量を把握していますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- 1. 把握している →問 30 にお進みください
- 2. 把握していない →問 31 にお進みください
- 3. 分からない →問 31 にお進みください

問 30 (問 29 で「1. 把握している」とお答えになった事業所にお聞きします。) 把握しているエネルギーについて、あてはまるものすべてに○をつけてください。

- |           |       |
|-----------|-------|
| 1. 電気     | 2. ガス |
| 3. ガソリン   | 4. 軽油 |
| 5. LPG    | 6. 重油 |
| 7. 総エネルギー |       |

問 31 貴事業所において、どのような省エネルギーの工夫や新エネルギーの導入を行っていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1. ヒートポンプ式空調設備の導入
- 2. コージェネレーションシステムの導入
- 3. ESCO 事業の導入
- 4. 工場や事務所建物の断熱化、複層ガラスの導入
- 5. 太陽光発電の設置
- 6. 太陽熱温水器の設置
- 7. その他 (

問 32 省エネ、新エネの導入に対する市の取り組みとして、最も重要だと思われることはどれですか。あてはまるものに3つまで○をつけてください。

- 1. パンフレット等による情報提供
- 2. 環境教育の充実
- 3. 環境フェア等の普及・啓発活動
- 4. 率先的な自然エネルギー機器の採用
- 5. 助成金制度・融資制度等の創設
- 6. 住民参加の機会創出
- 7. 相談窓口の設置
- 8. 自然エネルギー導入調査の実施
- 9. その他 (

)

問 33 社有車として電気自動車の導入について、どのようにお考えですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. すぐにも導入したい
2. 販売価格が下がれば導入したい
3. 充電器の普及が進めば導入したい
4. 税制優遇などの措置があれば導入したい
5. 導入は一般に普及が進んだ後、検討したい
6. 導入したくない
7. その他（ ）

問 34 企業や市民から出資を募り、公共施設や遊休地等に大規模太陽光発電を設置する場合に、貴事業所では出資してもよいと思いますか。あてはまるものに 1 つだけ○をつけてください。

1. 是非出資したい
2. 出資を前向きに検討したい
3. 全く出資したくない
4. 本社などの判断
5. 方針なし

※共同発電は設置に関心のある市民・企業から出資金を集め、そのお金によって太陽光発電を設置し、発電による電気を売ることによって利益を享受し、太陽光発電の普及、重要性のアピール等を行っていく取り組みです。出資金によって配当金は異なり、先進事例では年間配当利回りは2%~3%となっています。

問 35 貴事業所の環境マネジメントシステムや環境に関する社内制度等について、あてはまるものに 1 つだけ○をつけてください。

|                         |                                  | 実施済 | 今後実施予定 | 実施予定なし | 検討中 | 知らない |
|-------------------------|----------------------------------|-----|--------|--------|-----|------|
| (回答例) ISO14000シリーズの認証取得 |                                  | ○   |        |        |     |      |
| 1.                      | ISO14000シリーズの認証取得                |     |        |        |     |      |
| 2.                      | エコアクション21の認証取得                   |     |        |        |     |      |
| 3.                      | その他環境マネジメントシステム（KES、エコステージなど）の導入 |     |        |        |     |      |

## 1 1. 市政に対するご意見や今後のまちづくりのアイデアについて

問 36 市政に対するご意見や、今後のまちづくりについての具体的なアイデア等がございましたら、ご記入ください。（自由回答）

【まちづくり全般について】

|  |
|--|
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |

【環境について】

|  |
|--|
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |

ご協力ありがとうございました。



